

# 大型郵便物対応 戸建・集合郵便受箱(壁付タイプ) KS-MB36F(前入前出)

施工の前に、この「施工説明書」をよくお読みの上、正しく施工してください。

## 安全上のご注意 必ずお守りください。

施工される方への危険を未然に防止するためと、お使いになる方やその他の方への危険や損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■説明を無視した取り扱いによって生じる、＜危害や損害の程度＞を次の表示で区分し説明しています。

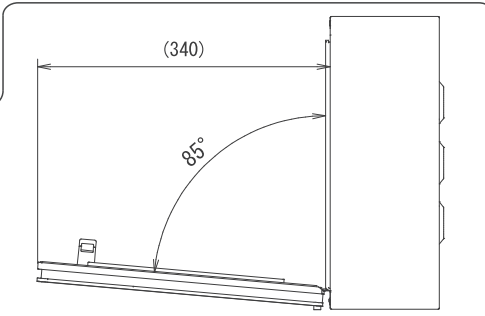
<b>⚠ 警告</b>	この表示の欄には「死亡や重大な事故の発生が想定される」内容です。	<b>⚠ 注意</b>	この表示の欄には「ケガや物的損害の発生が想定される」内容です。
-------------	----------------------------------	-------------	---------------------------------

**⚠ 注意**

- 取付工事には手袋を着用してください。
- ねじ類の締め忘れにご注意ください。
- 取り付けする際は平面に取り付けしてください。  
取付面が平面でない場合、本体にねじれや歪みが生じ、扉、内ボックス錠前等の動作不良や故障の原因、および防滴性能に影響を与える場合があります。
- 本体にねじれや歪みが生じると、扉、内ボックス、錠前等の動作不良や故障の原因および防滴性能に影響を与える場合がありますので注意して取り付けしてください。

- 扉が 85° までしか開かない構造となっています。  
85° 以上開くように力を加えると破損する恐れがありますので、過剰な力を加えないでください。
- 設置の際は扉全開時のスペースをご配慮ください。

- 内・外装工事がある場合は製品の養生を施してください。特にタイルの洗浄液や工事による鉄の削り屑が付着しないようにご注意ください。  
製品の取り付け、据え付け後、内・外装工事を行う場合は、製品の養生を必ず行ってください。工事によるチリ・ホコリ・洗浄液等が錠前に影響を与え、動作不良をおこしたり、本体に付着したままにしておくと、もらいさびをおこす場合があります。



※おねがい事項

- 通行の妨げになる場所、極端に高い所や低い所には設置しないでください。  
郵便物の出し入れに支障の無い位置に取り付けてください。
- 製品は全面が強固な塀や、壁等に取り付けてください。  
パイプフレーム等への取り付けはしないでください。
- 扉の開閉と投入・取出スペースが確保できない場所に設置しないでください。
- 製品取付後に錠前の清掃を行ってください。  
錠前と錠前の受け部を必ず清掃してください。

## 付属品

- |   |   |   |  |   |
|---|---|---|--|---|
|  |  |  |  |  |
| 穴隠しシール<br>8個<br>(予備2個)  | タッピンねじ(SUS)<br>呼び4.5×40<br>4個   | ワッシャー(SUS)<br>呼び4.5用<br>4個  | 止水パッキン<br>(片面両面テープ付)<br>6個   | 樹脂プラグ<br>4個   |

**⚠ 注意**

- ・付属の樹脂プラグは、ブロック塀・コンクリート塀以外に使用しないでください。落下する恐れがあります。
- ・ブロック塀・コンクリート塀以外に取り付ける場合は、適切な部材、下地止水処理等を充分ご配慮の上、施工してください。
- ・サイディングに取り付けしないでください。落下する恐れがあります。
- ・取付面が平面でない場合、動作不良や故障の原因、および防滴性能に影響を与える場合があります。

施工前の確認と準備をお願いします。

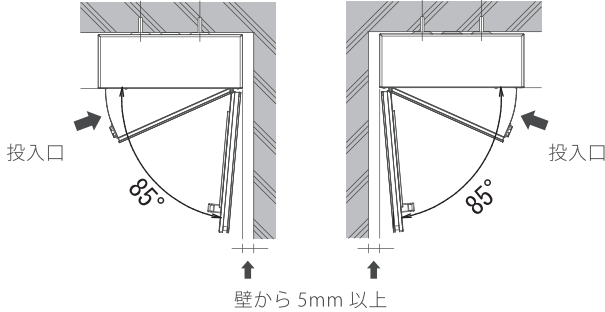
● 設置場所の確認

投入口の向きと壁からの位置にご注意ください。

※扉は85°までしか開きません。無理に開くと破損する恐れがあります。

右開き

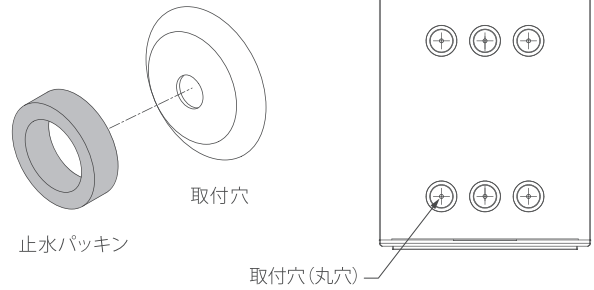
左開き



● 止水パッキンの貼り付け

本体背面側から予備の取付穴も含め、6ヶ所に止水パッキンを貼り付けます。

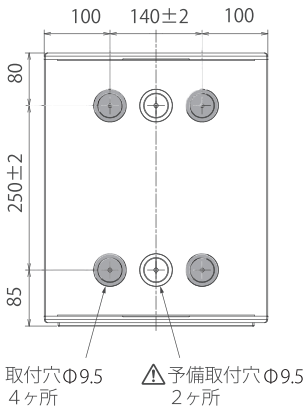
貼り付けない場合、雨水が浸入してしまいます。



1

取り付けピッチ図を参照の上、振動ドリルを使って壁にΦ8・深さ55mmを4ヶ所あけます。

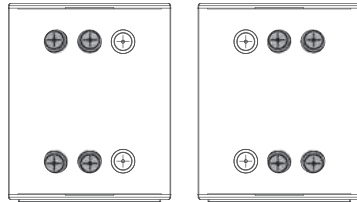
取付ピッチ図



⚠ 注意 予備取付穴について

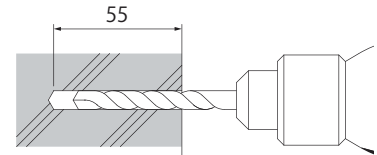
四隅の取付穴で施工できない場合は予備取付穴を利用して図のパターンに従ってください。それ以外は本体のねじれや歪みの原因になりますのでおやめください。

予備取付穴を利用する場合

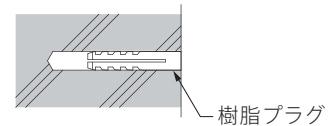


2

1で穴あけした4ヶ所に樹脂プラグを打ち込みます。



※穴内の切粉は除去してください。



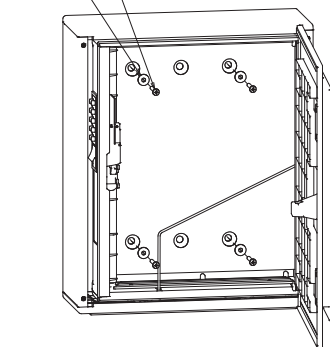
3

扉を開け、内ボックスを収納した状態でタッピンねじにワッシャーを介して壁に固定します。固定する際は必ずねじを対角で締めつけていき、微調整を行いつつ本締めしてください。固定後は扉・錠前・内ボックスの動作確認を行います。

※固定時に梱包箱を土台として使用可能です。(詳しくは梱包箱内面をご覧ください)

タッピンねじ

ワッシャー



⚠ 注意

扉・錠前・内ボックスの動作確認は必ず行ってください。動作不良が生じた場合は本体にねじれや歪みが生じている可能性がありますので、ねじの締め込み等で調整を行ってください。

4

内ボックスの穴を穴隠しシールで塞ぎます。必ず6か所とも塞いでください。防滴性能に影響を与える可能性があります。

穴隠しシール

